

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児体育Ⅱ	演習	1	山本 章雄

【ディプロマポリシーとの関連】

＜認知的領域(理解・思考・判断)＞

4. 自ら設定した課題について、保育学・教育学・心理学・社会学などの研究方法を用いて考察することができる。

＜技能・活動的領域(技能・表現)＞

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 幼児の「運動」「運動あそび」「体力づくり」を理解し、その「具体的実施(案)」を作成・試行することにより検討を加える。

到達目標: 幼児期における「体育」の意義・役割・留意点等を認識し「実施(案)」が作成できる。

幼児期に必要な運動要素に添った「動き」「あそび」「動作」を考慮した「実施(案)」が作成できる。

様々な条件(場所・時間・人数・対象者・用具)を想定した「実施(案)」が作成できる。

【授業の概要】

幼児期の「体育」(運動・あそび・体力づくり)の実施に於いては、その「理論」を十分に理解しておくことが必要であるが、それと同等に「理論」を「実施」に結びつける能力・テクニックが、保育者にとって重要となる。この授業では、現場で起こりうる様々な状況を想定し、これに対応した「実施(案)」の作成および「実行」が行える能力の獲得を目指す。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス(授業目標、授業内容、日程、アクティブラーニング、評価方法等の説明・意見交換)

事前学修課題: シラバスにより授業の概要を理解しておく【0.5時間】

事後学修課題: ガイダンスの内容を再確認し受講計画を立案する【0.5時間】

2. 幼児期の「体育」における「意義」「役割」「ねらい」の再確認

事前学修課題: 幼児体育の「意義」「役割」「ねらい」を確認しておく【0.5時間】

事後学修課題: 「意義」「役割」「ねらい」の各項目を十分に把握する【0.5時間】

3. 幼児期の「体育」における「留意点」「抱える問題」などの再確認

事前学修課題: 幼児体育の「留意点」「抱える問題」を確認しておく【0.5時間】

事後学修課題: 「留意点」「抱える問題」の各項目を十分に把握する【0.5時間】

4. 幼児期の「体育」が現在どのように実施されているかの検証 ① 都市部・大規模施設など

事前学修課題: 幼児数の多い施設の実体を調査しておく【0.5時間】

事後学修課題: 良好な点、改善が必要な点を整理しておく【0.5時間】

5. 幼児期の「体育」が現在どのように実施されているかの検証 ② 農村部・小規模施設など

事前学修課題: 幼児数の少ない施設の実体を調査しておく【0.5時間】

事後学修課題: 良好な点、改善が必要な点を整理しておく【0.5時間】

6. 幼児体育の「実施(案)」作成 ① 指導案の様式・作成手順・オリジナリティ

事前学修課題: 「指導案」を収集し様式を確認しておく【0.5時間】

事後学修課題: どのような様式、作成手順が良いかを理解しておく【0.5時間】

7. 幼児体育の「実施(案)」作成 ② 目的・ねらいの設定 (何をさせてあげたいか? 何を得て欲しいか?)

事前学修課題: 「指導案」を収集し「目的」「ねらい」をチェックしておく【0.5時間】

事後学修課題:いろいろな「目的」「ねらい」を充分把握し整理する【0.5時間】
8. 幼児体育の「実施(案)」作成 ③ 子どもたちの状況把握 (年齢・人数・発達段階・ハンデキャップなど) 事前学修課題:状況の違いを生起させる要因を確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:いろいろな条件にどのように対応するか整理する【0.5時間】
9. 幼児体育の「実施(案)」作成 ④ 実施環境の状況把握 (屋内・屋外・広さ・用具・施設・季節・気温など) 事前学修課題:想定される場所・環境の違いを確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:実施環境の違いによる注意点・留意点を整理する【0.5時間】
10. 幼児体育の「実施」① 準備・集合について 事前学修課題:実施向けの「準備」「集合」で起こりうる事象を確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:「準備」「集合」での注意点・留意点を整理する【0.5時間】
11. 幼児体育の「実施」② 導入活動・主活動について 事前学修課題:「導入」「主活動」で起こりうる事象を確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:「導入」「主活動」での注意点・留意点を整理する【0.5時間】
12. 幼児体育の「実施」③ まとめ活動・後片づけについて 事前学修課題:「まとめ」「後片づけ」で起こりうる事象を確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:「まとめ」「後片づけ」での注意点・留意点を整理する【0.5時間】
13. 幼児体育の「実施」④ 予定の実施が不可、不測の事態が発生した場合の対応 事前学修課題:起こりうる「不測の事態」などを確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:「不測の事態」での注意点・留意点を整理する【0.5時間】
14. 全体まとめ ① 創意工夫があった・独創的であった・進行方法がスムーズだったなど良かった点の確認 事前学修課題:これまでの授業内容を振り返り「良かった点」を確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:良かった点をまとめ、その理由を含めて整理する【0.5時間】
15. 全体まとめ ② 無理があった・危険性があった・楽しくなかったなど改善を要する点の確認 事前学修課題:これまでの授業内容を振り返り「改善を要する点」を確認しておく【0.5時間】 事後学修課題:改善を要する点をまとめ、その理由を含めて整理する【0.5時間】
【学習のあり方】 幼児体育においては、保育者の実施環境や状況に応じた実践能力の「質」が、子どもたちの生き生きとした活動を導く大切な要因である。この能力の獲得を目指し、主体的にまた意見交換を活発にして受講を進めること。
【成績評価】 受講態度点(30%)、「実施(案)」「実施」の内容(50%)、提出物(20%)
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 提出物等に必要がある場合、個別にコメント行う。その他は授業時に口頭でコメントする。
【テキスト】 特になし
【参考文献】 元気な子どもを育てる「幼児体育」 前橋明 編著 保育出版社
【実務経験の有無】

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児体育Ⅱ	演習	1	川野 裕姫子

【ディプロマポリシーとの関連】

＜認知的領域(理解・思考・判断)＞

4. 自ら設定した課題について、保育学・教育学・心理学・社会学などの研究方法を用いて考察することができる。

＜技能・活動的領域(技能・表現)＞

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 保育・幼児教育における運動の効果や体育の目標及び指導法の理解を深め、保育現場に即応できる実践力を高める。

到達目標:①幼児があそびのなかで楽しみながら、十分に身体をうごかすことのできる方法を実行できる。

②運動あそびを戸外での活動に活かせる方法を実行できる。

③模擬授業・保育を通じて、運動あそびの指導法及び安全管理について判断でき、実行できる。

④子どもをやる気にさせるための援助方法について受講者間で議論し、将来の保育・教育に活用できる能力を発揮できる。

【授業の概要】

① 幼児体育Ⅰで習得した技能を参考に、各自が模擬授業、保育を実施する。

② 模擬授業、保育に対して受講者間で意見交換、および相互評価を行う。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス

事前学習課題: 幼児体育Ⅰのあそびを復習しておく。ストレッチ等で身体を動かす。[0.5 時間]

事後学習課題: 幼児体育の必要性とて幼児の年齢に合ったあそびを確認する。[0.5 時間]

2. 教材づくり

事前学習課題: ストレッチ等で身体を動かす。[0.5 時間]

事後学習課題: 次回の指導案のあそびを考えておく。[0.5 時間]

3. 指導案作成

事前学習課題: ストレッチ等で身体を動かす。指導案のあそびを確認する。[0.5 時間]

事後学習課題: 指導案作成をノートに記録する。次回の指導案のあそびを考えておく。[0.5 時間]

4. 模擬授業・保育①(かけっこリレー)

事前学習課題: ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題: 模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

5. 模擬授業・保育②(ごっこあそび)

事前学習課題: ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題: 模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

6. 模擬授業・保育③(輪、棒)

事前学習課題: ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題: 模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

7. 模擬授業・保育④(縄、ボール)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

8. 模擬授業・保育⑤(マット)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行うこと。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

9. 模擬授業・保育⑥(跳び箱)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行うこと。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

10. 模擬授業・保育⑦(平均台)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

11. 模擬授業・保育⑧(新聞)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

12. 模擬授業・保育⑨(タオル)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

13. 模擬授業・保育⑩(リズム運動)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

14. 模擬授業・保育⑪(サーキット)

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。模擬授業、保育を実施する際、各自が創作工夫して指導できる教材研究を行う。[0.5 時間]

事後学習課題:模擬授業内容及び保育で気付いたことをノートに記録する。[0.5 時間]

15. 授業まとめ

事前学習課題:ストレッチ等で身体を動かす。本授業の模擬授業を通しての感想及び今後、実践するに当たり反省すべきことを考えておく。[0.5 時間]

事後学習課題:本授業の模擬授業内容の感想及び反省をまとめノートに記録する。[0.5 時間]

【学習のあり方】

実践された授業、保育を振り返り、授業改善についての意見交換を積極的に行うこと。

【成績評価】

授業参加度(40%)、模擬授業・保育(40%)、提出物(20%)

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

提出課題に対してコメントを付けて翌週返却する。

【テキスト】

特になし

【参考文献】

「保育所保育指針」「幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「小学校学習指導要領体育科」を必要に応じ、紹介する。

日本幼児体育学会「幼児体育—理論と実践—」大学教育出版

大元千種「書き方・あそび・保育のコツがわかる 実習の日誌と指導案サポートブック」ナツメ社

【実務経験の有無】